

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画立案に関してはある程度職員意見の反映は出来ているが、より一層意見を反映させた介護計画をする為に利用者状況把握のためのアセスメントを強化していく必要がある	介護計画は本人や家族の思いを汲み取ったものを重視すると共に相談しながら作成する	自分の意思表示ができない利用者の代弁者となるべく職員は日頃から状況把握を行い介護計画に反映させる 本人にも介護計画の内容を混乱しないように伝える	12ヶ月
2	25	暮らしの中で現状の把握は出来ているが一人ひとりが持っている力が生活の中で必ずしも発揮できていないとは思えない 生活場面で能力を発揮して頂く工夫をする	本人の持っている能力を見つけ実施につなげる	本人の出来ることの把握と共に生活場面で活躍出来るような出番を作る 毎日ではなくても体調や精神状態の様子を見ての出番とする	12ヶ月
3	45	入浴は午前中となっているが午後浴が出来ないか職員体勢を見直したい 本人の希望を重視した入浴とする必要がある	本人希望を把握すると共に、安全性の確保も考慮する	入浴時間は体調や、入浴中の事故も想定し安全と本人の希望が兼ねあつたものとする 少しでも無理があるのなら現状を優先とする	6ヶ月
4	49	外出支援として各種行っているが外出できる利用者は限定になることが多い 可能な限り戸外の機会を増やすこととしたい	外出出来る利用者は決まってしまうので出来る限りお誘いして楽しい外出を演出する	外出にはある程度のリスクもあるので家族の理解を得ると共に本人の体調面を最優先にする 無理強いではない外出支援を作り出す	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。